

NEWS RELEASE

報道関係者各位

2021年8月31日
株式会社Brandit

アパレル向けECプラットフォーム「BRANDIT system」に、スタッフコーディネート投稿機能を導入

ファッション業界のDXを推進する事業を展開している株式会社Brandit(本社:東京都渋谷区、代表取締役CEO:鍛冶良紀、以下当社)は、アパレル向けECプラットフォーム「BRANDIT system」に、スタッフコーディネート投稿機能を導入いたしました。スタッフがコーディネートを自社ECサイトに簡単に投稿ができ、商品情報も紐付けができるこの機能は、購入までの参考にしてもらいながら、販売促進に繋がるマーケティングツールとして活用できます。また、投稿したコーディネートをSNSにも簡単に投稿できるシェア機能も付帯しています。この機能はBRANDIT systemに無料で標準搭載いたします。

BRANDIT system

<主な機能>

- ・コーディネート投稿機能: スタッフやブランドが用意したコーディネート写真を自社ECサイトに投稿できます。さらに、商品情報を簡単に紐付けができるため、同ページ内で買い物が完結し、コンバージョンレートを高めることが期待できます。
- ・SNS投稿機能: 上記の投稿を、自社SNSや個人のSNSにも投稿する事ができます。
- ・測定機能: 商品ページから、コーディネートページ経由で購入された商品の売上や金額を確認できます。

BRANDIT system スタッフコーディネート



■BRANDIT systemについて

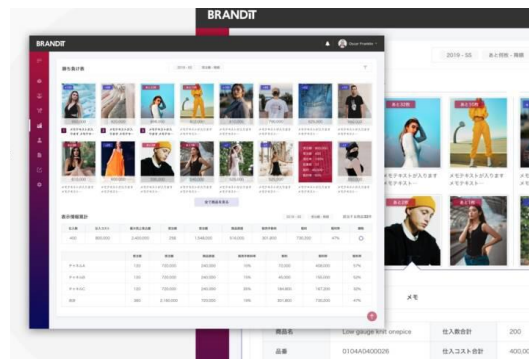
「BRANDIT system」は、カート機能だけでなく、別々のツールで管理していた【受注】【原価】【各チャネル別手数料】【販売開始日】【配送データ】【出荷売上】【顧客データ】などの項目を一元管理できるアパレル向けのECプラットフォームです。商品情報、購入情報、顧客情報を1つのシステム内でデータ保有し、多面的に分析することで「顧客を知り」、お客様一人ひとりの購買思考や傾向をキャッチした「顧客提案の実現」、その先にある直接的なアプローチ・コミュニケーションがもたらす「顧客と深くつながる」ことを叶えられるシステムです。

※システム利用料は月額無料、売上の11%のみお支払い頂きます。

※「BRANDIT system」はビジネス特許を出願済です。

<BRANDIT systemが実現できるポイント>

- 販売チャネル毎の在庫管理が可能
 - 商品生産原価の損益分岐点を自動算出
 - 販売チャネル別の手数料を加味した粗利の自動算出
 - 販売日数からの在庫消化状況を可視化
 - 消化進捗状況に裏付けされたSKU単位での追加生産が可能
 - 来季(期)商品計画へのデータ活用
- ※全てアイテム毎に詳細表示ができます。
- カゴ落ちやスタッフコーデ投稿などのマーケ活動



■株式会社Branditについて

Branditは、「Make Next Branding by Fashion Tech.」をビジョンに掲げ、D2CブランドやD2Cソリューション事業を通してファッション業界のDXを推進する企業として事業展開しています。

- ・D2Cブランド事業: 自社生産／自社ECにてインフルエンサーを起用したD2Cブランド「TRUNC 88」「WM」の展開 (<https://trunc88.com/>、<https://www.wm-official.com/>)
- ・D2Cソリューション事業: 生産から物流までをワンストップで提供できるB to B向けのソリューション「BRANDIT」を開発・提供 (<https://brandit.co.jp/brandit/>)

社名: 株式会社Brandit(ブランドイット)

代表者: 代表取締役 CEO 鍛治 良紀

所在地: 東京都渋谷区神南1-11-3 PORTAL POINT SHIBUYA 5F

設立: 2019年9月5日

資本金: 319,950,000円(資本剰余金含む)

事業内容: D2Cブランド事業、D2Cソリューション事業、上記に附帯するEC運用、商品生産、物流事業広告代理およびPR事業

URL: <https://brandit.co.jp>

【本リリースに関するお問合せ先】株式会社Brandit MAIL: pr@brandit.co.jp

東京都渋谷区神南1-11-3 PORTAL POINT SHIBUYA 5F <https://brandit.co.jp>